

違法音楽アプリ及びリーチサイトに関する 利用実態調査

2022年2月25日

一般社団法人 日本レコード協会

調査概要

調査方法 : インターネット調査

調査期間 : 2021年11月26日～11月30日

調査対象者 : 【スクリーニング (SC) 】

12～69歳男女（12～15歳は母親による代理回答） 合計50,000名

※集計時には、性年代人口分布に合わせてウェイトバックを行っています。

【本調査 (Q) 】 違法音楽アプリ現在利用者 124名

違法音楽アプリ過去利用者 110名

リーチサイト現在利用者 96名

リーチサイト過去利用者 99名

合計 353名

※違法音楽アプリとは、Music FM (Musica系含む) または、MusicBoxを指す

※リーチサイトとは、他のウェブサイトアップロードされたコンテンツ (音楽・雑誌・漫画等) へのリンク情報等を提供して
利用者を誘導するためのウェブサイトのこと、とした

※現在利用者 : 2021年10月以降に利用している方

※過去利用者 : 2020年10～11月に利用していて2021年10月以降利用していない方

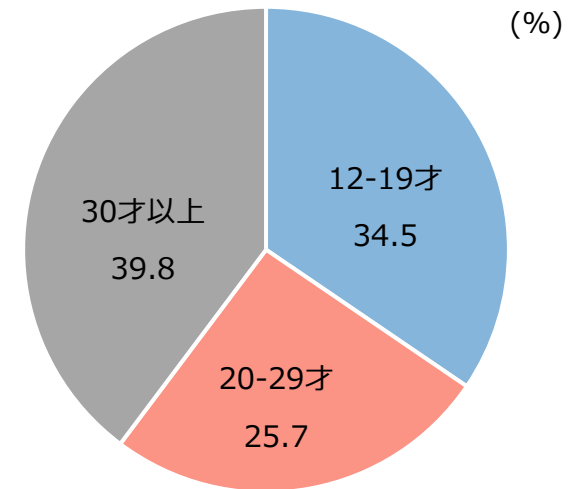
調査会社 : MMDLabo株式会社 (MMD研究所)

違法音楽アプリの利用状況（利用率、利用者数）

- 2021年10月以降、違法音楽アプリの利用者数は、人口構成比で約0.3%
人口推計で**約37万人**
- 昨年の同時期と比較して、半分まではいかないが大きく減少している
(昨年の人口比率約0.5% = 約64万人)

性年代	無許諾音楽アプリ利用率 ※無料音楽アプリ・サービスの中でMusic FM（Musica系含む）、 MusicBoxを最も利用すると回答した割合			令和2年通信利用動 向調査（総務省）	無許諾音楽アプリ 利用者数（人）		
	(昨年調査) 2019年12月～ 2020年9月	2020年10月～11月	2021年10月～11月		(昨年調査) 2019年12月～ 2020年9月	2020年10月～11月	2021年10月～11月
	男性/12-19才	1.9%	1.3%		1.0%	94.8%	91,375
男性/20-29才	1.7%	1.3%	0.5%	96.2%	104,751	80,578	30,105
男性/30才以上	0.5%	0.3%	0.2%	96.2%他	141,965	105,246	66,175
女性/12-19才	3.7%	3.2%	2.0%	96.1%	163,730	141,598	83,912
女性/20-29才	3.1%	2.1%	1.2%	97.3%	180,738	126,096	66,529
女性/30才以上	0.4%	0.4%	0.3%	96.9%他	122,543	123,833	76,183
合計					805,102	636,451	366,823

【現在（10月以降）利用者の年代構成比】



SC3 無料音楽アプリ・サービスを利用したことがある方にお伺いします。

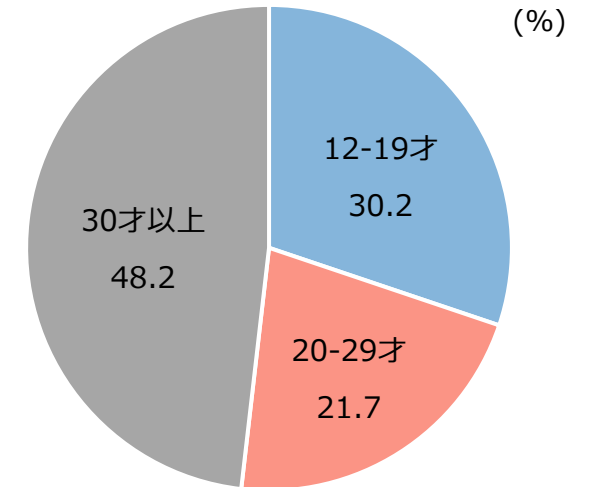
あなたが昨年の同時期(2020年10～11月)に利用していた無料音楽アプリ・サービス、2021年10月以降に利用している無料音楽アプリ・サービスを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。(2020年10～11月/2021年10月以降)

リーチサイトの利用状況（利用率、利用者数）

- 2021年10月以降、リーチサイトの利用者数は、人口構成比で約0.3%
人口推計で**約39万人**（※違法音楽アプリの算出方法とは異なり、複数回答で算出）
- 今回初めて聴取する項目のため昨年と今年の両方について質問した結果、違法音楽アプリと同様に昨年の同時期に比べて減少

【現在（10月以降）利用者の年代構成比】

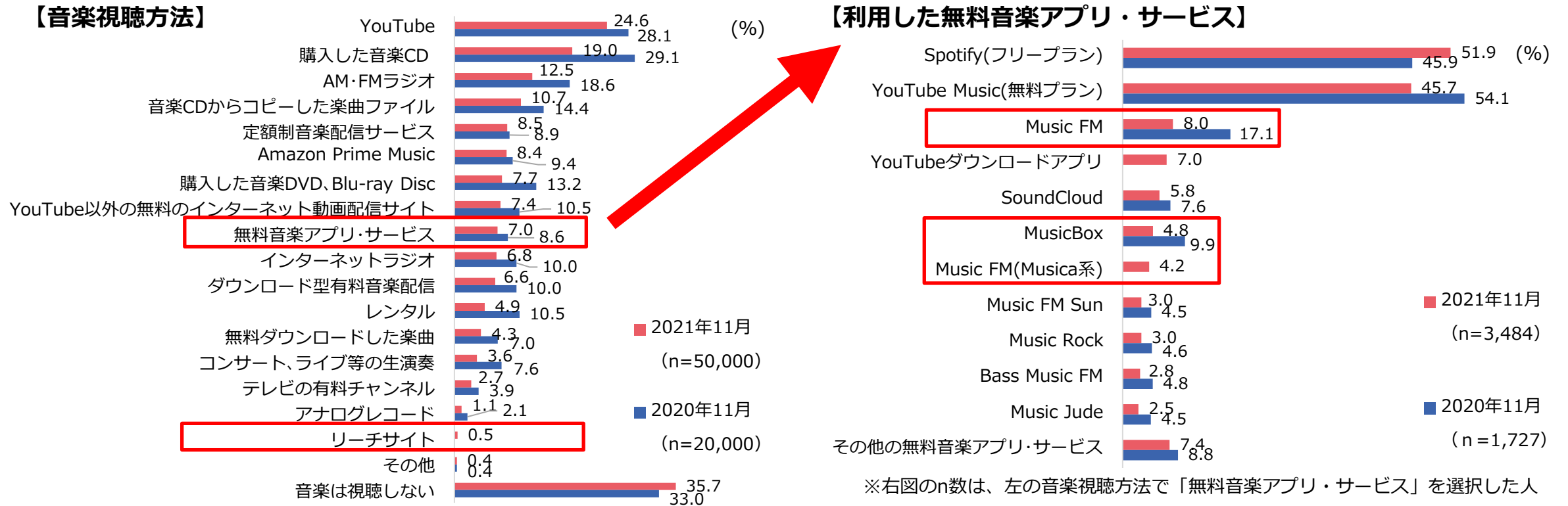
性年代	リーチサイト利用率		令和2年通信利用動向調査（総務省）	リーチサイト利用者数（人）	
	2020年10月～11月	2021年10月～11月		2020年10月～11月	2021年10月～11月
男性/12-19才	2.4%	1.8%	94.8%	103,910	76,572
男性/20-29才	1.7%	1.1%	96.2%	98,678	65,228
男性/30才以上	0.6%	0.4%	96.2%他	189,081	122,629
女性/12-19才	1.3%	1.0%	96.1%	53,690	43,007
女性/20-29才	0.9%	0.4%	97.3%	52,066	21,694
女性/30才以上	0.3%	0.2%	96.9%他	88,590	64,276
合計				586,015	393,406



SC2 以下の音楽の視聴方法のうち、あなたが昨年の同時期(2020年10～11月)に利用していたもの、2021年10月以降に利用しているものを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。なお、自分からすすんで音楽を視聴していない場合は、「音楽は視聴しない」をお選びください。(2020年10～11月/2021年10月以降)

音楽の視聴方法（利用したものすべて）

- 無料音楽アプリ・サービスの利用率は7.0%、昨年と同時期と比べて1.6ポイント減少
- 音楽を視聴しない割合は2.7ポイント微増しているものの、全体的に各項目の値が低くなっているため一人ひとりの音楽を聴く手段も減っている（狭くなっている）と考えられる。新型コロナウイルス流行前の生活が徐々に戻り、音楽に充てる時間が減ったこと、無料視聴と有料視聴をしていた層の有料視聴が減ったことなどが背景にある可能性がある
- 無料音楽アプリ・サービス利用者の中では、Music FMが8.0%、MusicBoxが4.8%、Music FM（Musica系）が4.2%



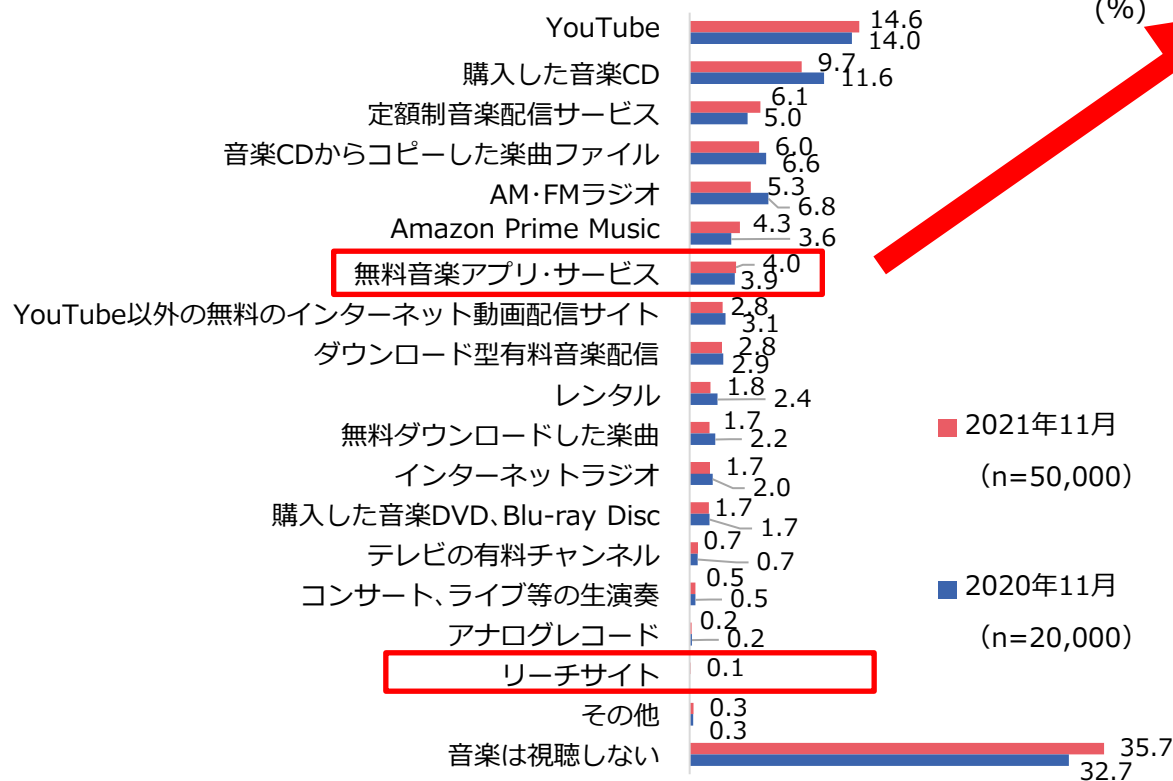
SC2 以下の音楽の視聴方法のうち、あなたが昨年と同時期(2020年10~11月)に利用していたもの、2021年10月以降に利用しているものを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。なお、自分からすすんで音楽を視聴していない場合は、「音楽は視聴しない」をお選びください。

SC3 無料音楽アプリ・サービスを利用したことがある方にお伺いします。あなたが昨年と同時期(2020年10~11月)に利用していた無料音楽アプリ・サービス、2021年10月以降に利用している無料音楽アプリ・サービスを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。

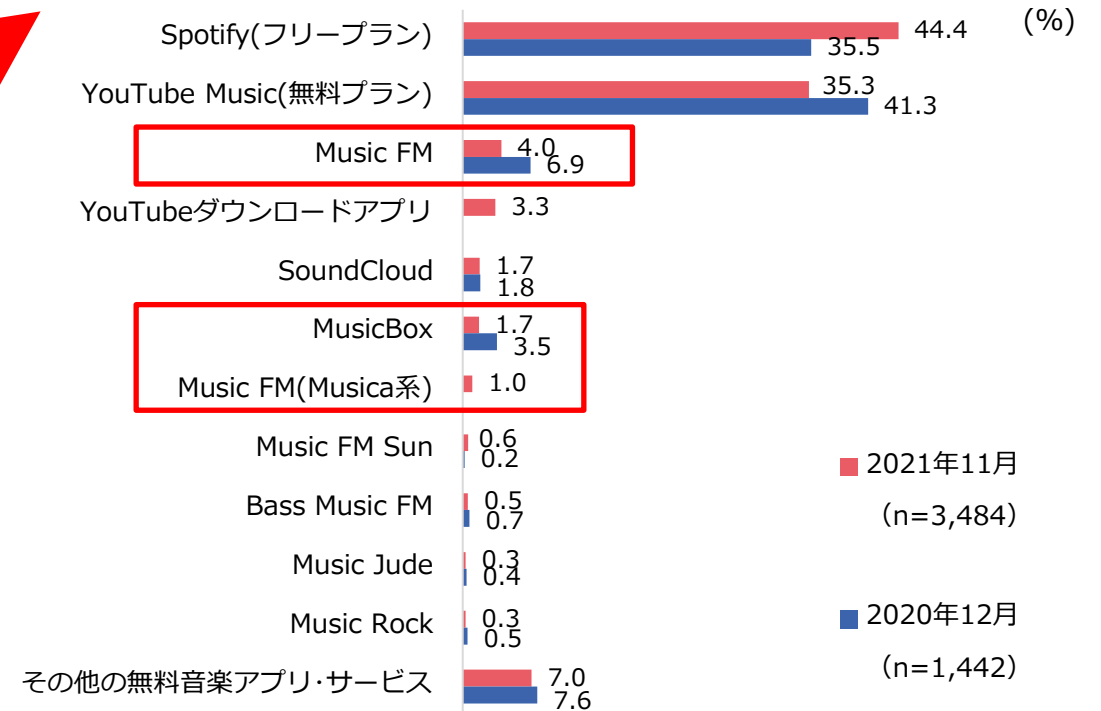
音楽の視聴方法（最もよく利用したもの）

- トップはYouTubeで14.6%、昨年同時期と比べてもほぼ変化はない
- 無料音楽アプリ・サービスを最も利用している割合は4.0%で、こちらも昨年同時期とほぼ同じ
- 無料音楽アプリ・サービス利用者のうち、違法音楽アプリの割合は6.7%（最も多いMusic FMで4.0%）

【最もよく利用した音楽視聴方法】



【最もよく利用した無料音楽アプリ・サービス】



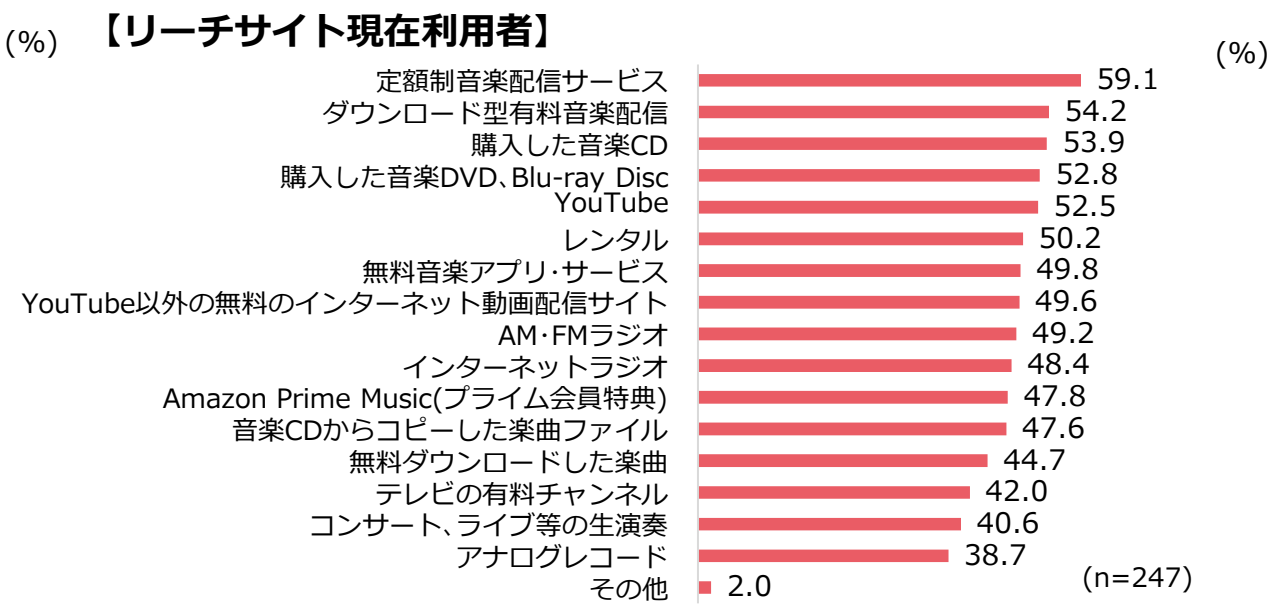
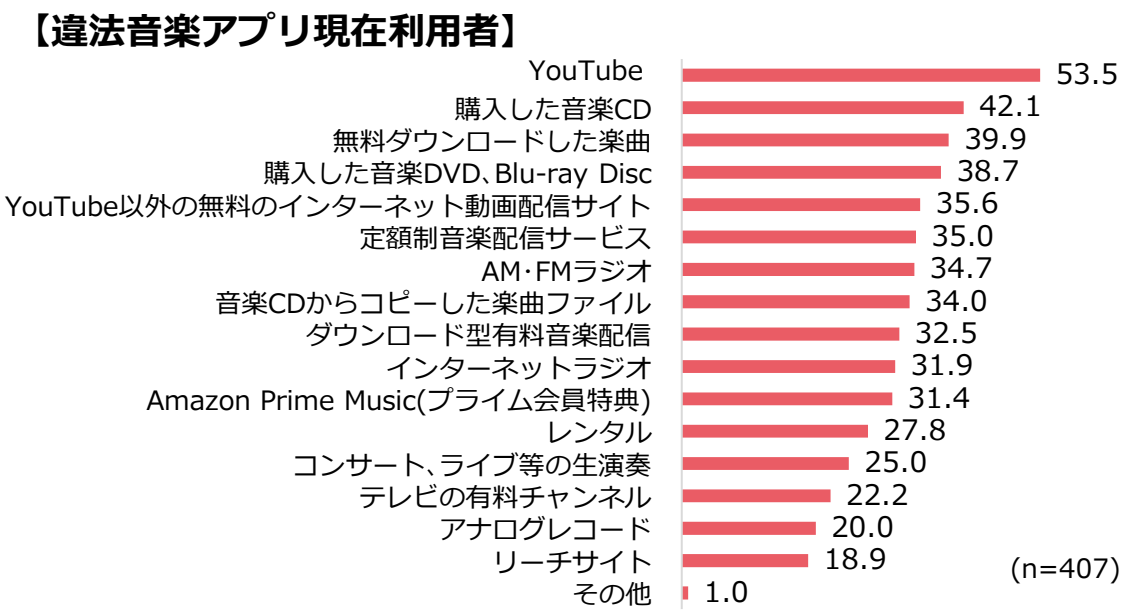
※右図のn数は、左の音楽視聴方法で「無料音楽アプリ・サービス」を選択した人

SC2 以下の音楽の視聴方法のうち、あなたが昨年の同時期(2020年10~11月)に利用していたもの、2021年10月以降に利用しているものを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。なお、自分からすすんで音楽を視聴していない場合は、「音楽は視聴しない」をお選びください。

SC3 無料音楽アプリ・サービスを利用したことがある方にお伺いします。あなたが昨年の同時期(2020年10~11月)に利用していた無料音楽アプリ・サービス、2021年10月以降に利用している無料音楽アプリ・サービスを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。

違法音楽アプリ、リーチサイト現在利用者の音楽の視聴方法（すべて）

- 違法音楽アプリ現在利用者が現在音楽を聴く方法は、YouTubeがトップで53.5%
- リーチサイト現在利用者が現在音楽を聴く方法は、定額制音楽配信サービスがトップで59.1%
- リーチサイト利用者はそれぞれの利用割合や所有して聴くもの（ダウンロード型有料音楽配信、音楽CD、DVDなど）の割合が高く、音楽視聴に対して積極的なことがうかがえる
- 違法音楽アプリ利用者は無料で利用できるから利用している人が多いが、CDの購入や定額制音楽配信サービスなどお金をかけて音楽を聴く人も一定数いる。リーチサイトはよりお金をかけて音楽を聴く人が多い印象だが、どちらも「お金をかけて聴く（聴ける）楽曲」、「そこまで行かないが聴きたい楽曲」があると考えられる。定額制音楽配信サービスでもサブスク解禁になっていないアーティストがいるため、違法音楽アプリやリーチサイトは目的の音楽を聴くための単なる手段のひとつとなっていると考えられる

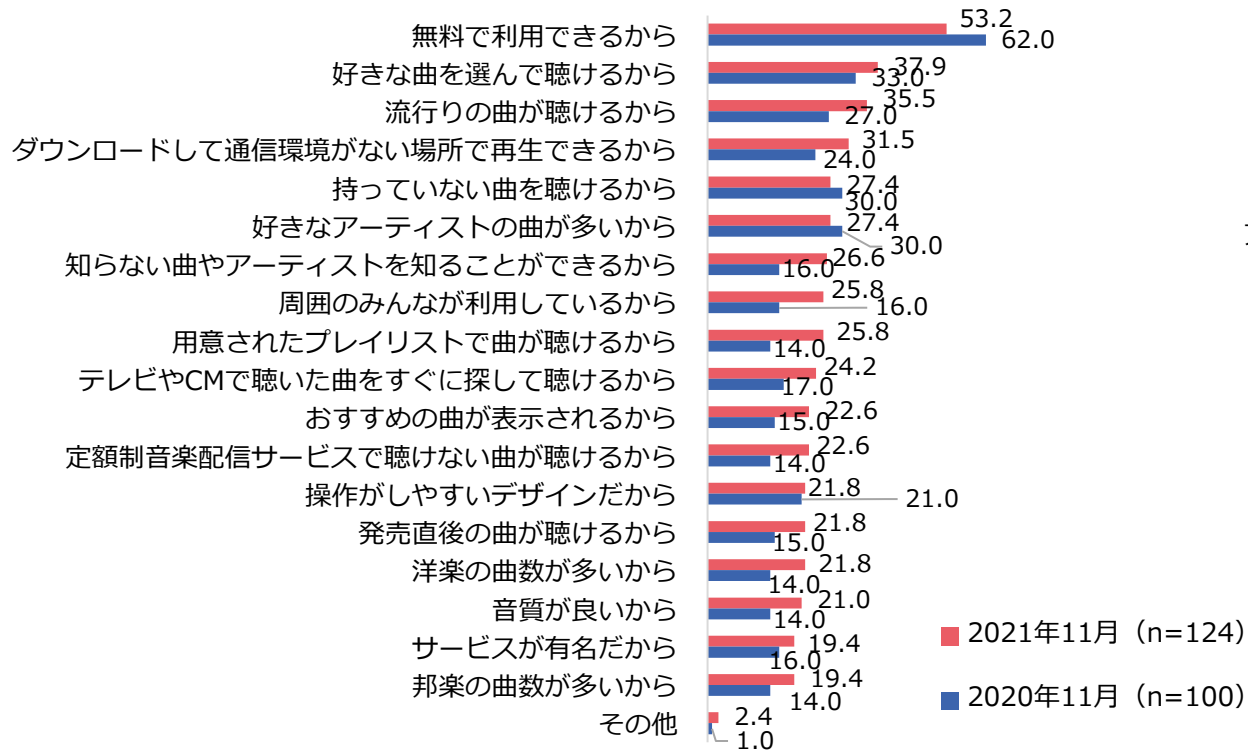


SC2 以下の音楽の視聴方法のうち、あなたが昨年の同時期(2020年10~11月)に利用していたもの、2021年10月以降に利用しているものを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。なお、自分からすすんで音楽を視聴していない場合は、「音楽は視聴しない」をお選びください。

違法音楽アプリ利用理由、中止理由

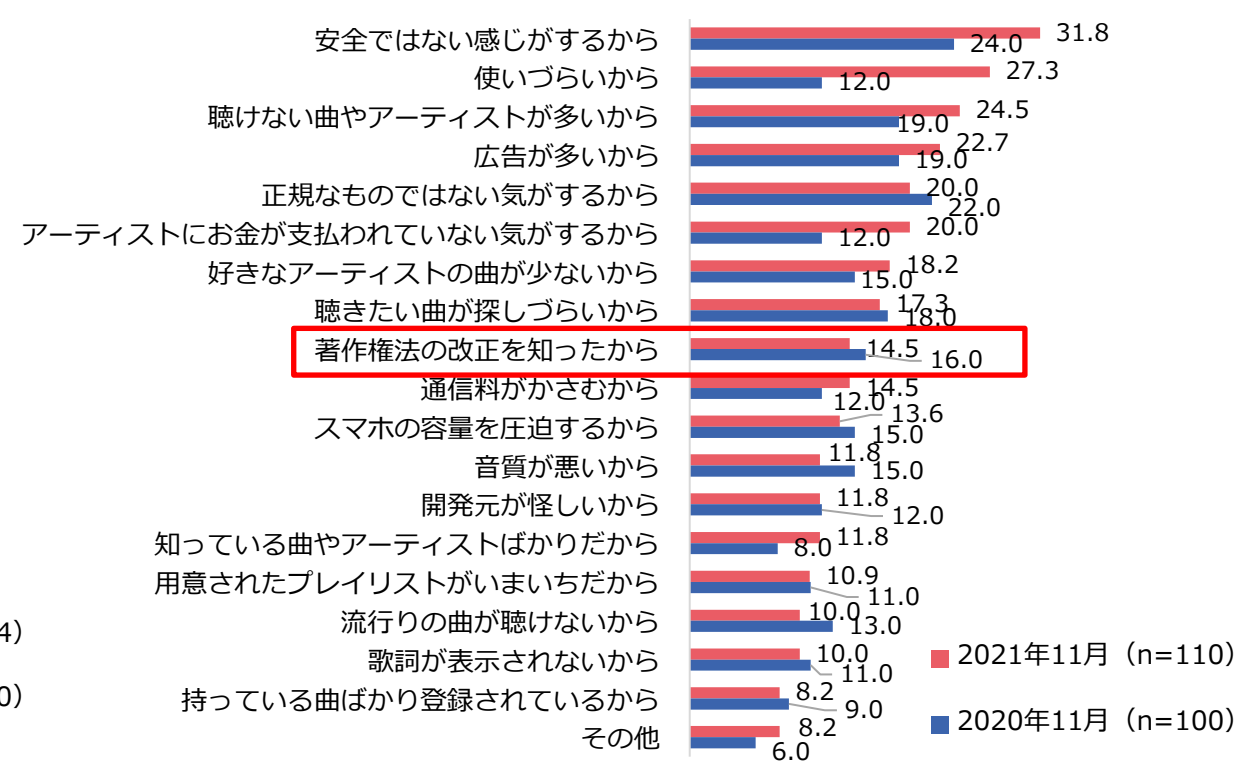
- 昨年調査と同様、利用理由のトップは「無料で利用できるから」53.2%
- 利用理由は各項目何れも昨年と比較して高いが、トップの「無料で利用できるから」は10ポイント近く下がった
- 3割以上が安全ではないと感じて利用をやめている
- 使いづらい、聴けない曲やアーティストが多い、広告が多いという利用面での不満が上位で、何れも昨年より伸びた

【違法音楽アプリ利用理由】



(%)

【違法音楽アプリ利用中止理由】



(%)

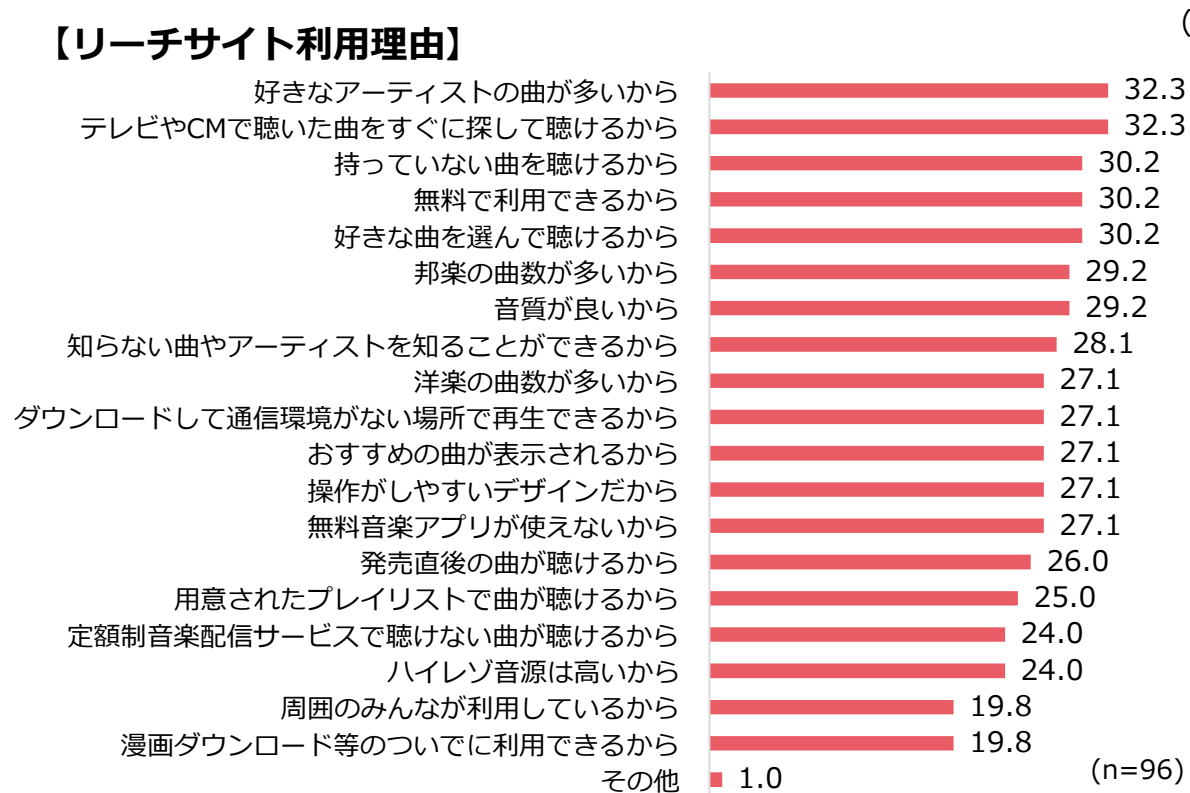
Q2 現在、あなたが無料音楽アプリ（Music FM、MusicBox）を利用する理由をすべてお選びください。

Q1 あなたが2020年10月以降、無料音楽アプリ（Music FM、MusicBox）を利用しなくなった理由をすべてお選びください。

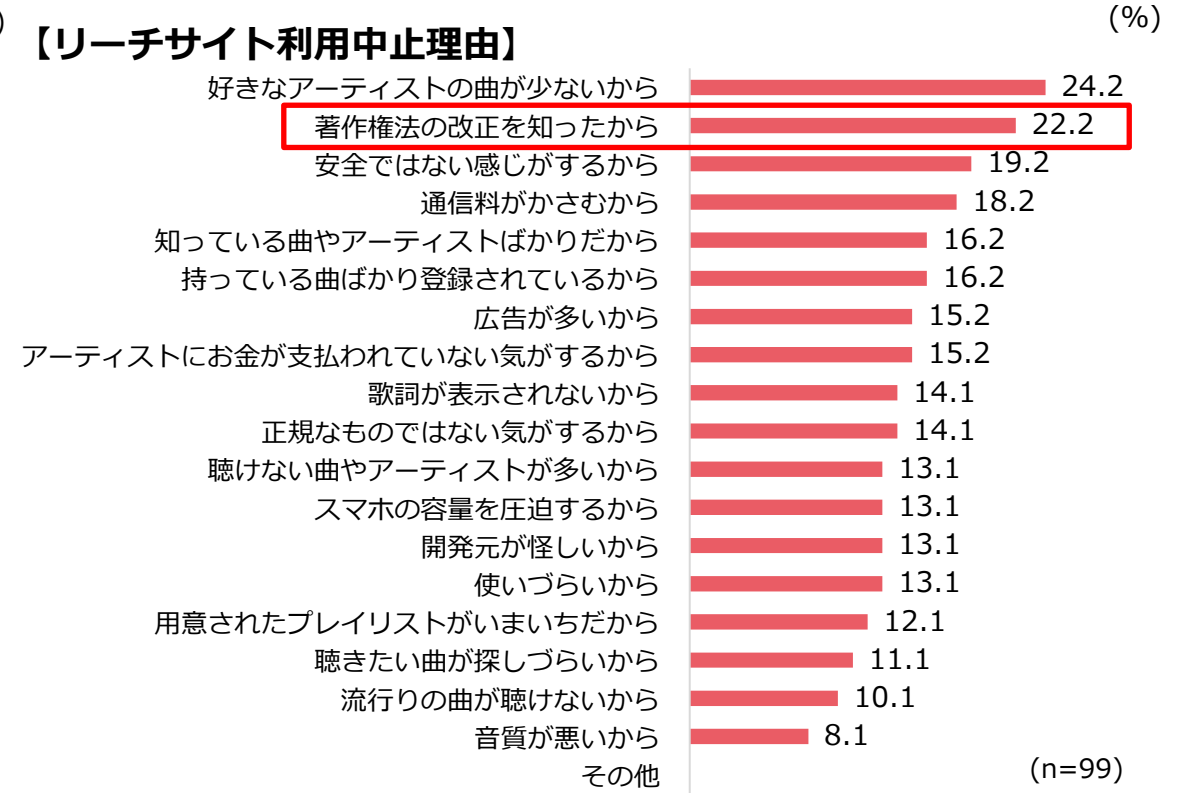
リーチサイト利用理由、中止理由

- トップは「好きなアーティストの曲が多い」「テレビやCMで聴いた曲をすぐに探して聴ける」32.3%
- 突出した理由はなく、ほとんどの項目が3割程度になっている
- 全体の4分の1は好きなアーティストの曲が少ないことを理由にやめている
- 著作権法の改正を知って利用をやめた人は22.2%

【リーチサイト利用理由】



【リーチサイト利用中止理由】



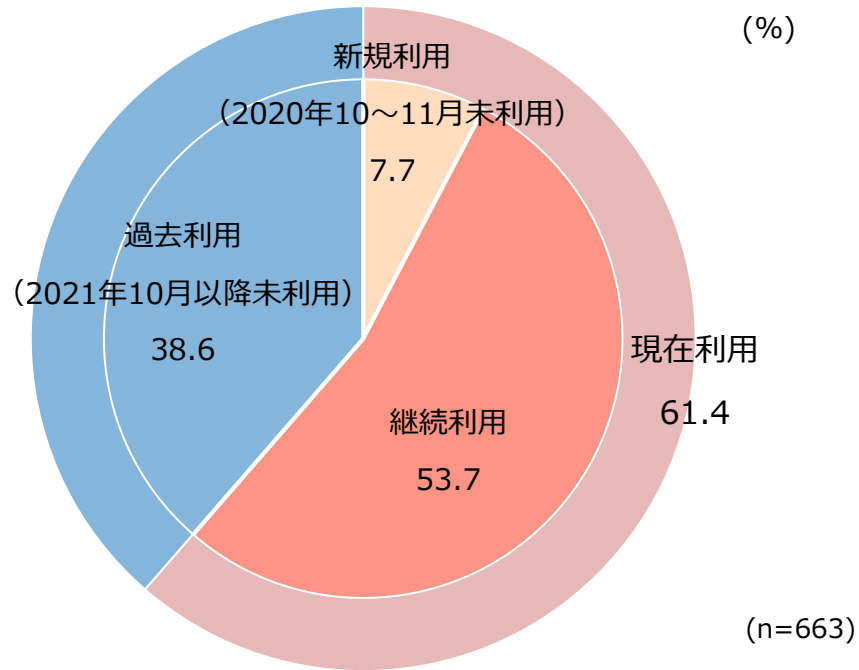
Q7 現在、あなたがリーチサイトを利用する理由を全てお選びください。

Q6 あなたが2021年10月以降、リーチサイトを利用しなくなった理由を全てお選びください。

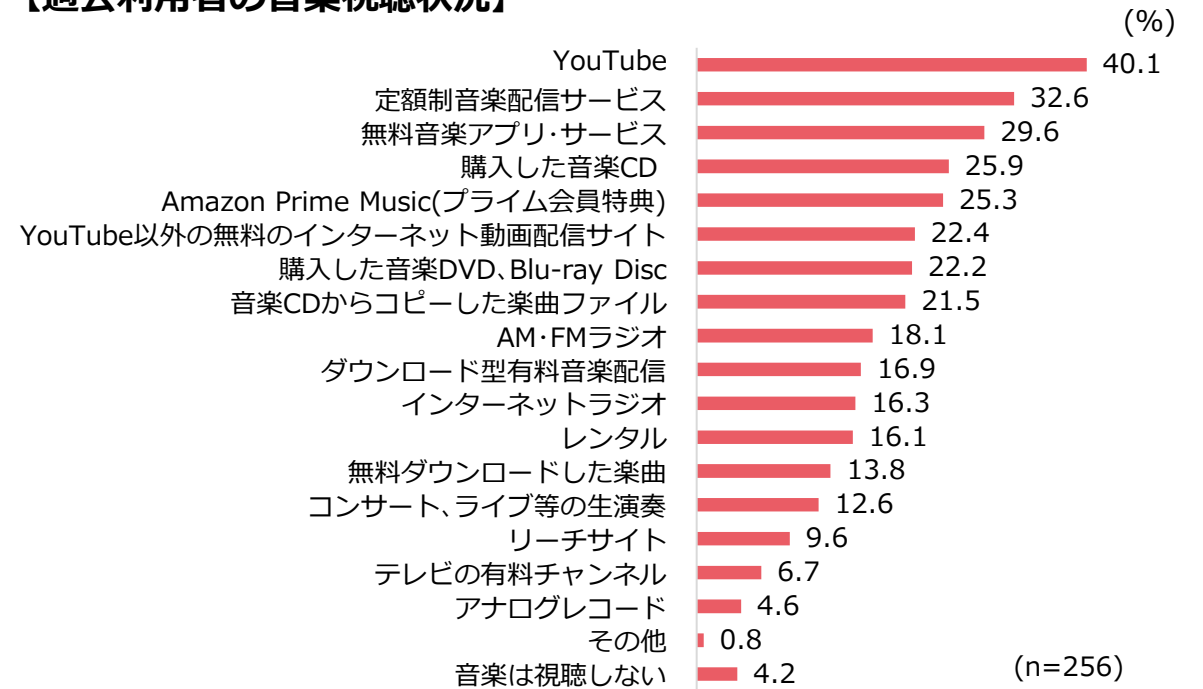
違法音楽アプリ過去利用者

- 違法音楽アプリ利用経験者のうち、現在利用者は61.4%
- 2021年10月以降に利用をやめた過去利用者は38.6%
- 違法音楽アプリ過去利用者が現在音楽を視聴する方法は、YouTubeがトップで40.1%、次いで定額制音楽配信サービスで32.6%となっている

【違法音楽アプリ利用経験者 内訳】



【過去利用者の音楽視聴状況】

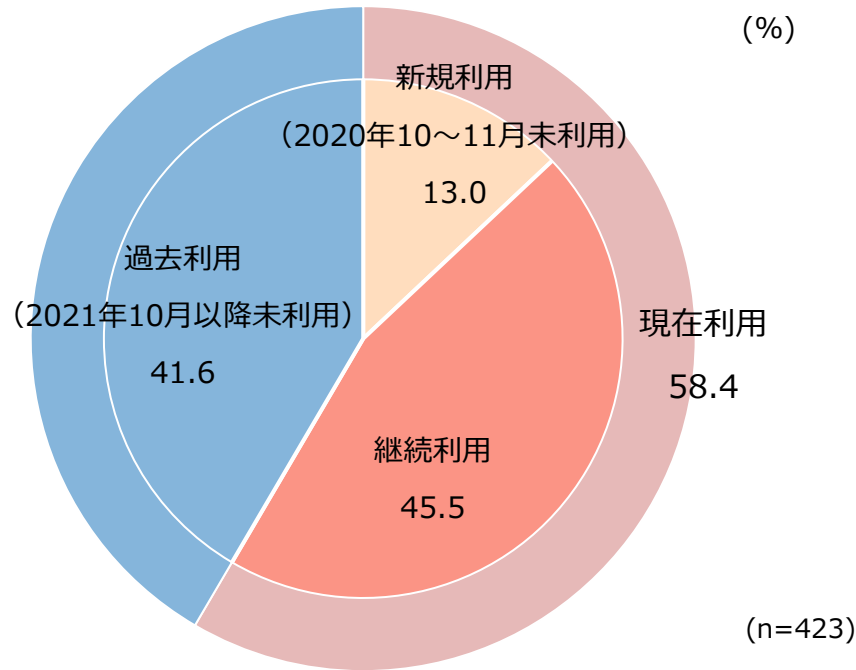


SC2 以下の音楽の視聴方法のうち、あなたが昨年の同時期(2020年10~11月)に利用していたもの、2021年10月以降に利用しているものを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。なお、自分からすすんで音楽を視聴していない場合は、「音楽は視聴しない」をお選びください。(左の図は、SC3から作成)

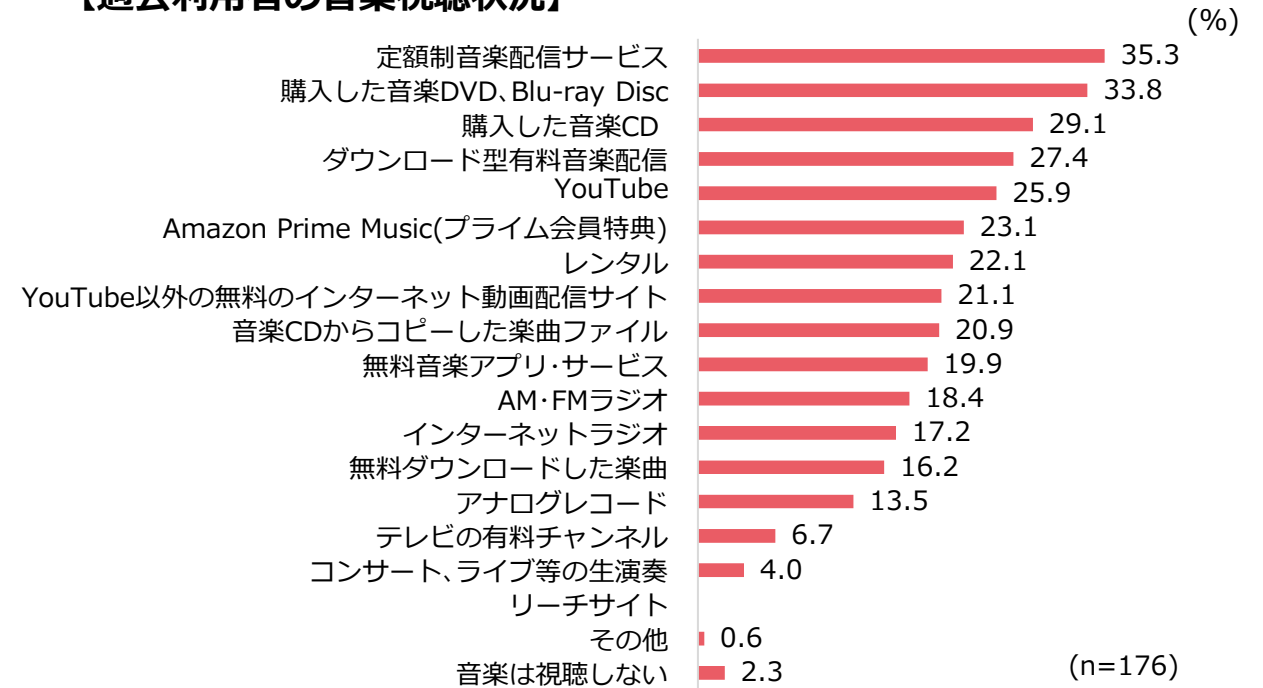
リーチサイト過去利用者

- リーチサイト利用経験者のうち、現在利用者は58.4%
- 2021年10月以降に利用をやめた過去利用者は41.6%
- リーチサイト過去利用者が現在音楽を視聴する方法は、定額制音楽配信サービスがトップで35.3%、次いで購入した音楽DVDなど33.8%

【リーチサイト利用経験者 内訳】



【過去利用者の音楽視聴状況】

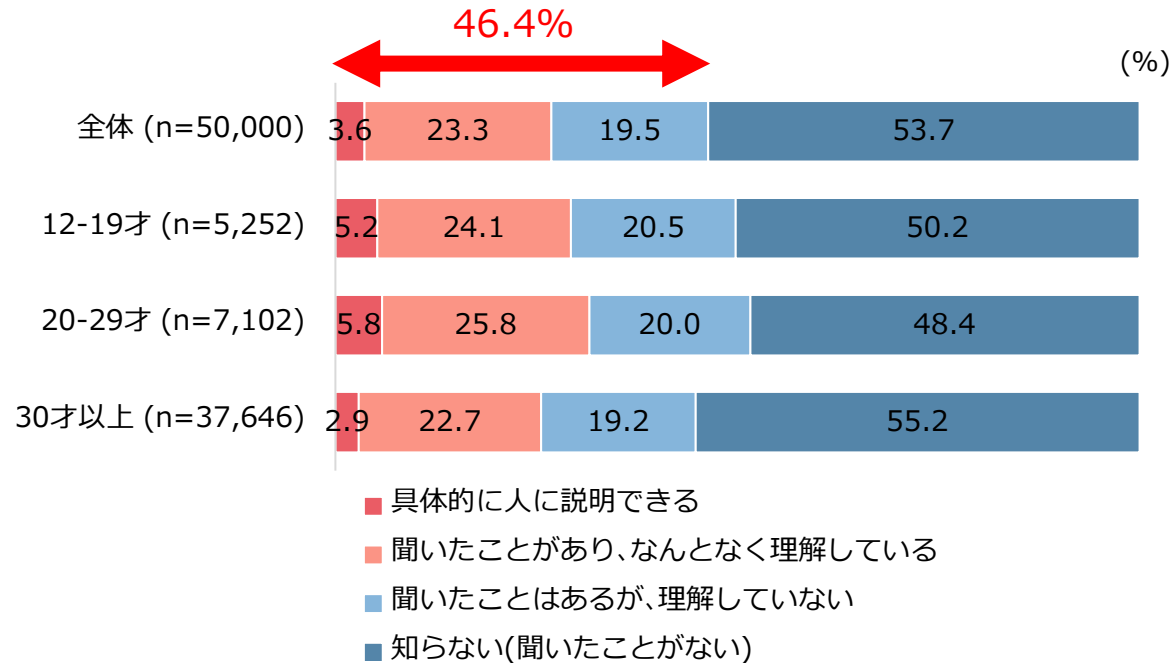


SC2 以下の音楽の視聴方法のうち、あなたが昨年の同時期(2020年10~11月)に利用していたもの、2021年10月以降に利用しているものを全て選び、そのうち最もよく利用しているものを1つだけお選びください。なお、自分からすすんで音楽を視聴していない場合は、「音楽は視聴しない」をお選びください。

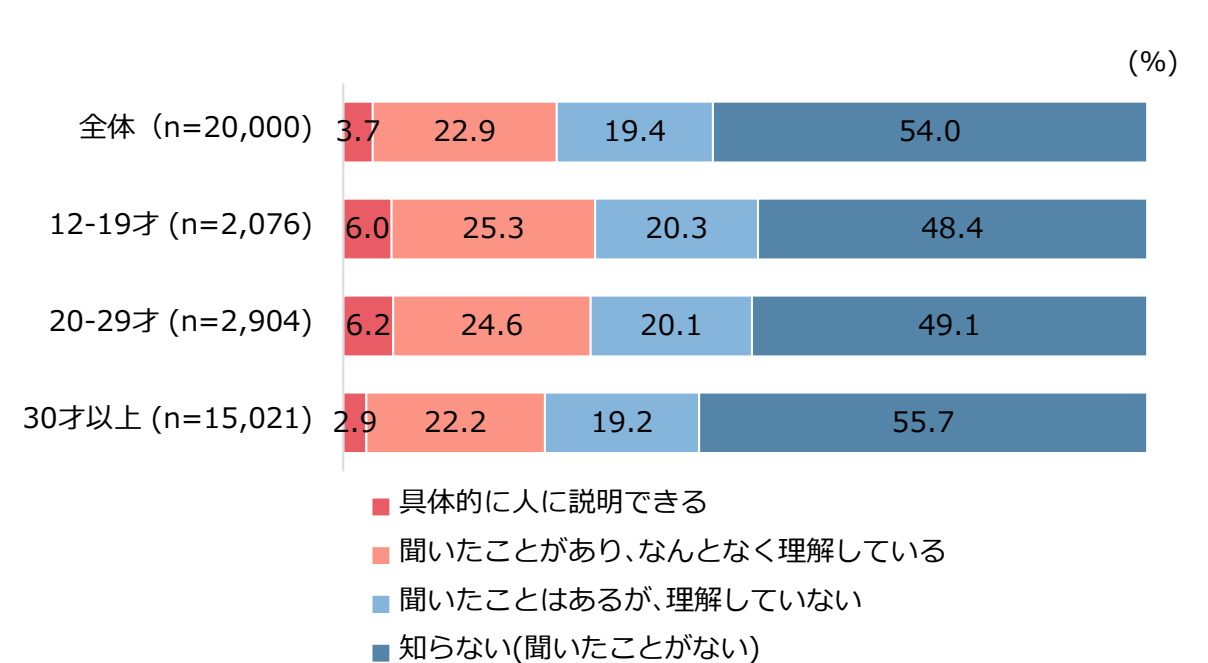
違法音楽アプリの規制強化を目的とする著作権法改正の認知

- 認知は全体で46.4%
- 昨年調査時から+0.4ポイント増加とほぼ変化がない

【2021年 認知状況】



【2020年 認知状況】

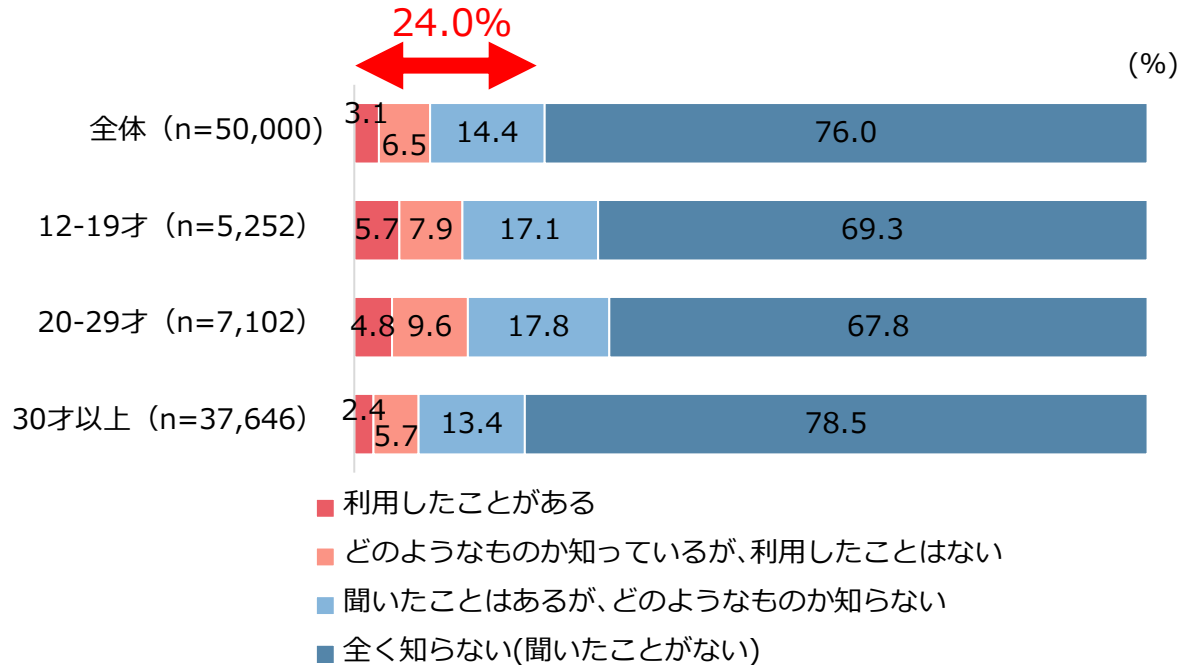


SC5 違法音楽アプリの規制強化を目的とする改正著作権法が2020年10月1日から施行されましたが、あなたはそのことを知っていますか？
 ※法改正により、「違法音楽アプリを提供する行為」「違法にアップロードされた音楽のリンクを違法音楽アプリに掲載する行為」も違法行為となります。

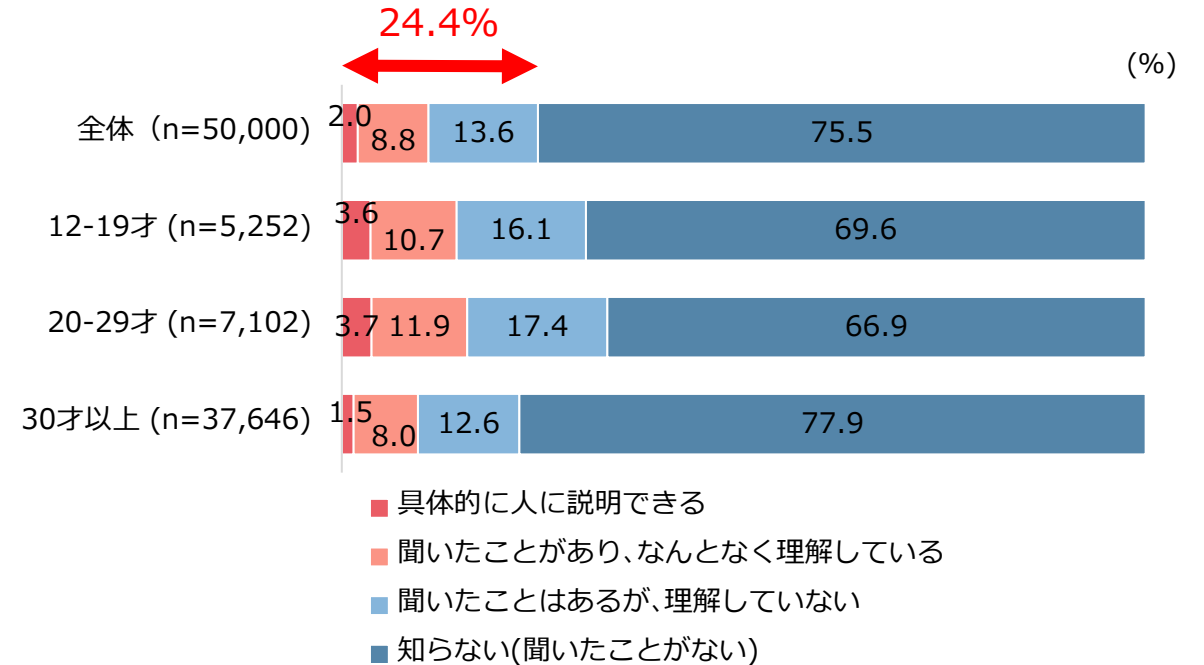
リーチサイトの規制強化を目的とする著作権法改正の認知

- リーチサイトの認知は全体で24.0%、著作権法改正の認知は全体で24.4%
- 年代別の認知傾向は、違法音楽アプリの傾向と同じ
- リーチサイト自体の認知が低く、リーチサイトとは知らずにリンクを貼っているサイトを利用している人がいる可能性も考えられる

【リーチサイトの認知状況】



【著作権法改正の認知状況】



SC6 あなたは、リーチサイトを知っていますか？

※リーチサイトとは、他のウェブサイトへアップロードされたコンテンツ（音楽・雑誌・漫画等）へのリンク情報等を提供して利用者を誘導するためのウェブサイトのこと

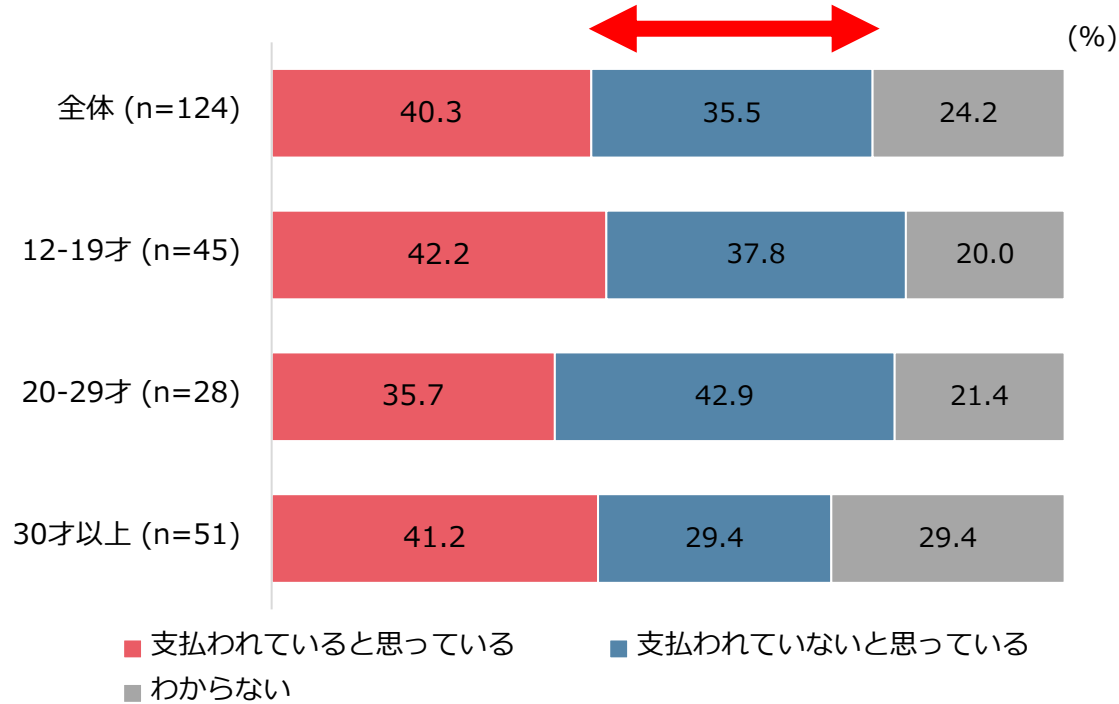
SC11 リーチサイトの規制強化を目的とする改正著作権法が2020年10月1日から施行されましたが、あなたはそのことを知っていますか？

※法改正により、「(侵害コンテンツに誘導する)リーチサイトを提供する行為」「違法にアップロードされた音楽のリンクをリーチサイトに掲載する行為」も違法行為となります。

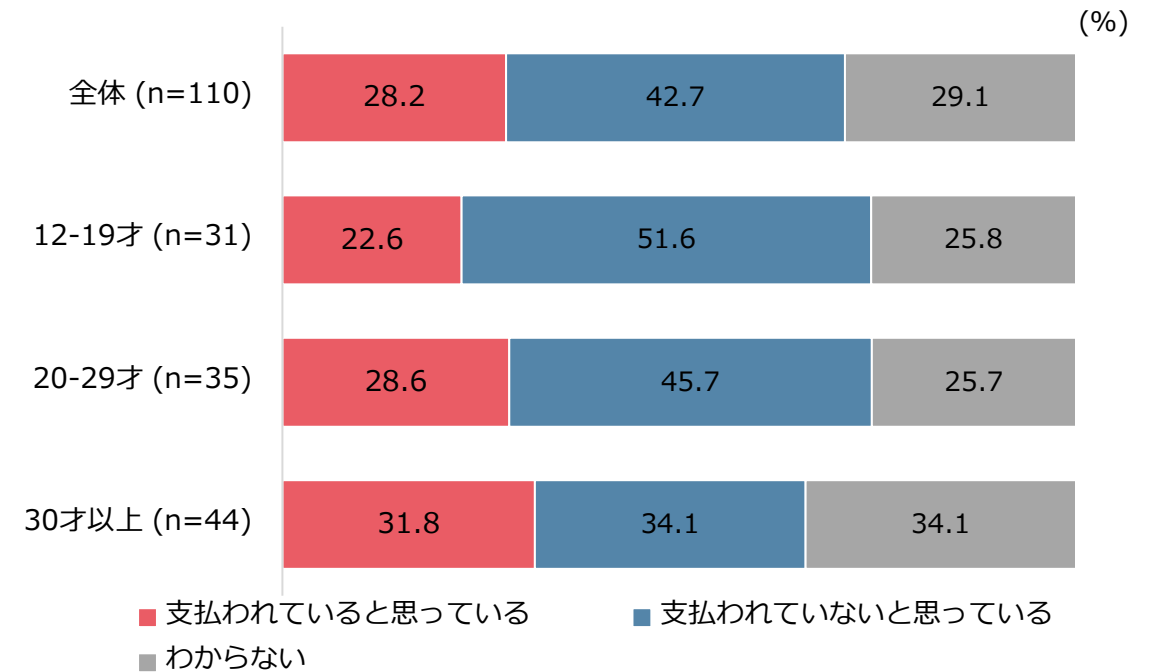
違法音楽アプリからアーティストにお金が支払われている認識

- 違法音楽アプリからアーティストにお金が支払われていないと思いながら利用している現在利用者は、35.5%（昨年39.0%）
- 現在利用者の40.3%が違法音楽アプリからアーティストにお金が支払われているとっており、昨年調査（32.0%）と比較しても、アーティストにお金が支払われていると間違っただ認識を持って利用する人が増加している

【違法音楽アプリ現在利用者】



【違法音楽アプリ過去利用者】

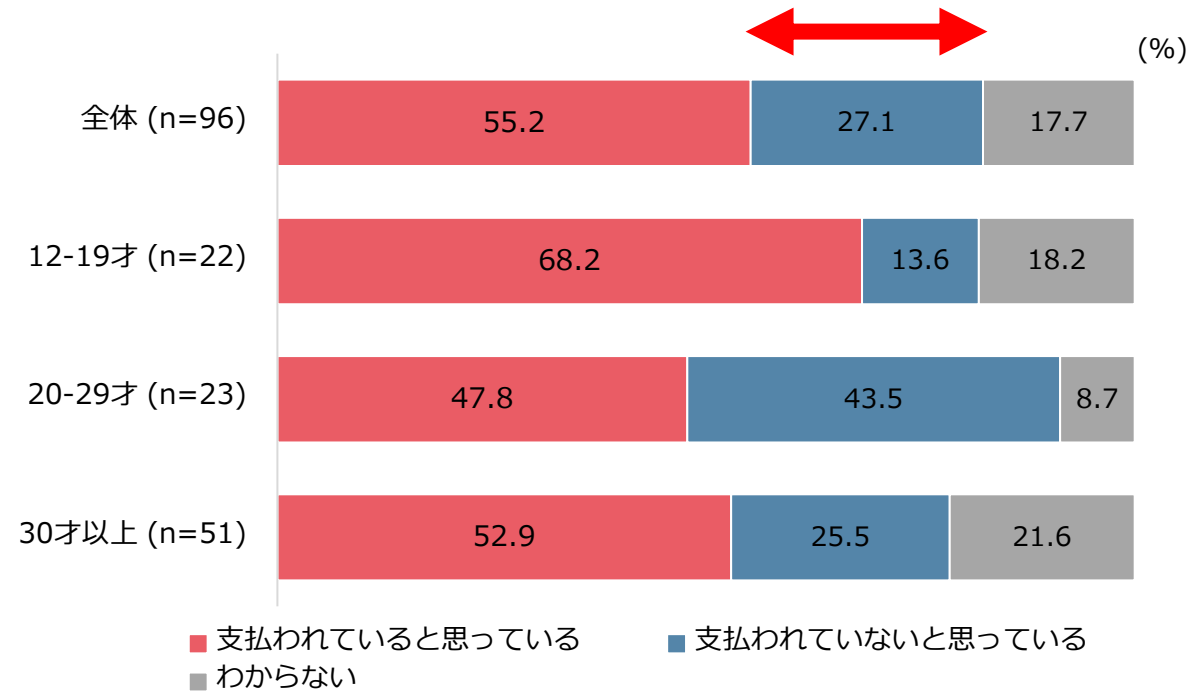


Q3 あなたは、無料音楽アプリ（Music FM、MusicBox）からアーティストにお金が支払われていると思いますか？

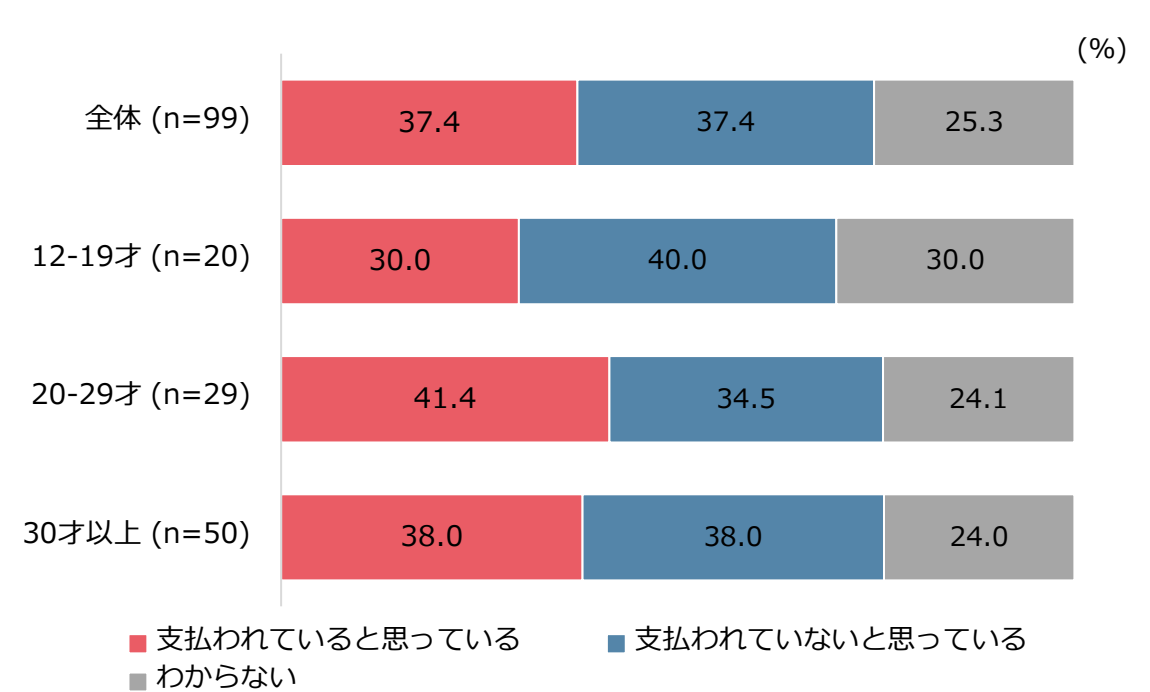
リーチサイトからアーティストにお金が支払われている認識

- アーティストにお金が支払われていないと思いながら利用している現在利用者は27.1%
- リーチサイト現在利用者の過半数はお金が支払われていると思いながら利用しており、違法音楽アプリよりも間違った認識を持って利用する人が多い

【リーチサイト現在利用者】



【リーチサイト過去利用者】

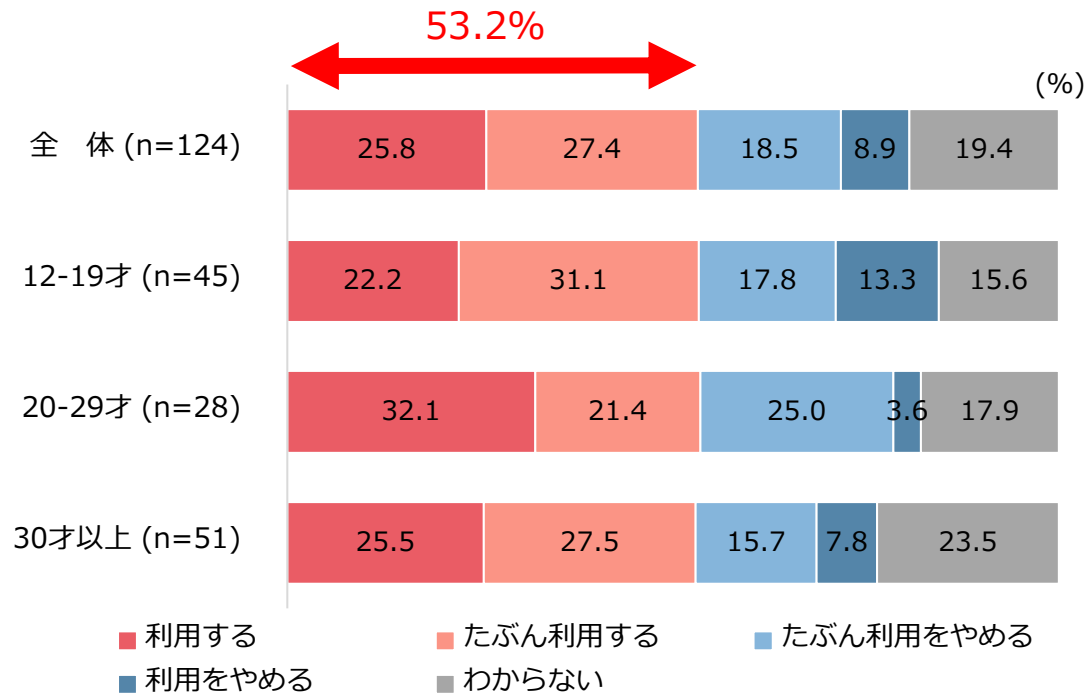


Q8 あなたは、リーチサイトからアーティストにお金が支払われていると思いますか？

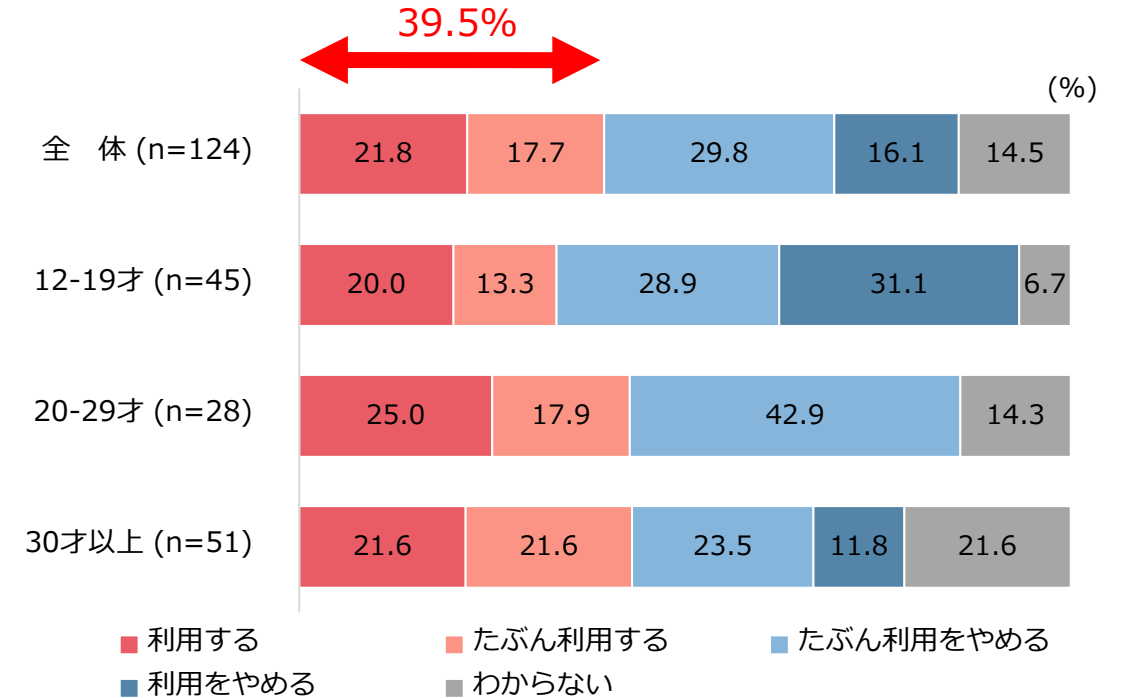
違法音楽アプリの継続利用意向

- アーティストへの支払いがないと分かった場合でも53.2%が利用すると回答していて、昨年調査（40.0%）よりも利用する割合が増加している
- アーティストが反対する場合の利用意向は39.5%と支払いがない場合に比べて下がるが、こちらも昨年調査（29.0%）と比較すると増加している

【アーティストへ支払いなし】



【アーティストの反対】

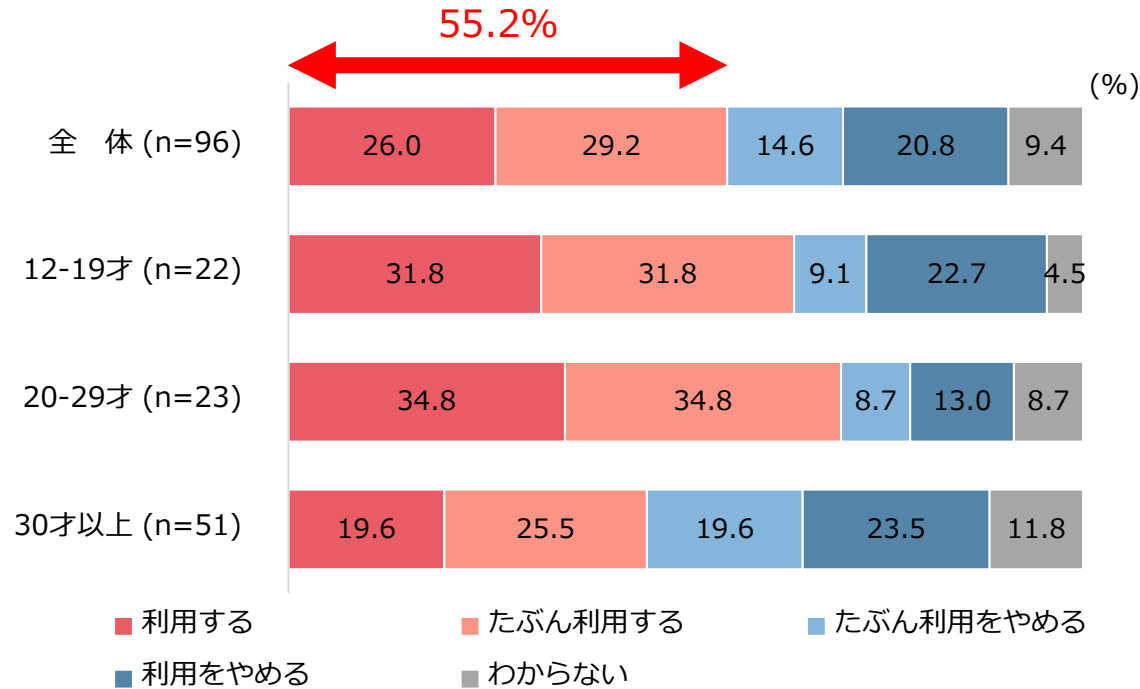


- Q4 もし、あなたが利用している無料音楽アプリ（Music FM、MusicBox）からアーティストにお金が支払われていないとしたら、その無料音楽アプリを今後も利用しようと思いますか？
- Q5 もし、あなたが利用している無料音楽アプリ（Music FM、MusicBox）を使うことにアーティストが反対しているとしたら、あなたはその無料音楽アプリを今後も利用しようと思いますか？

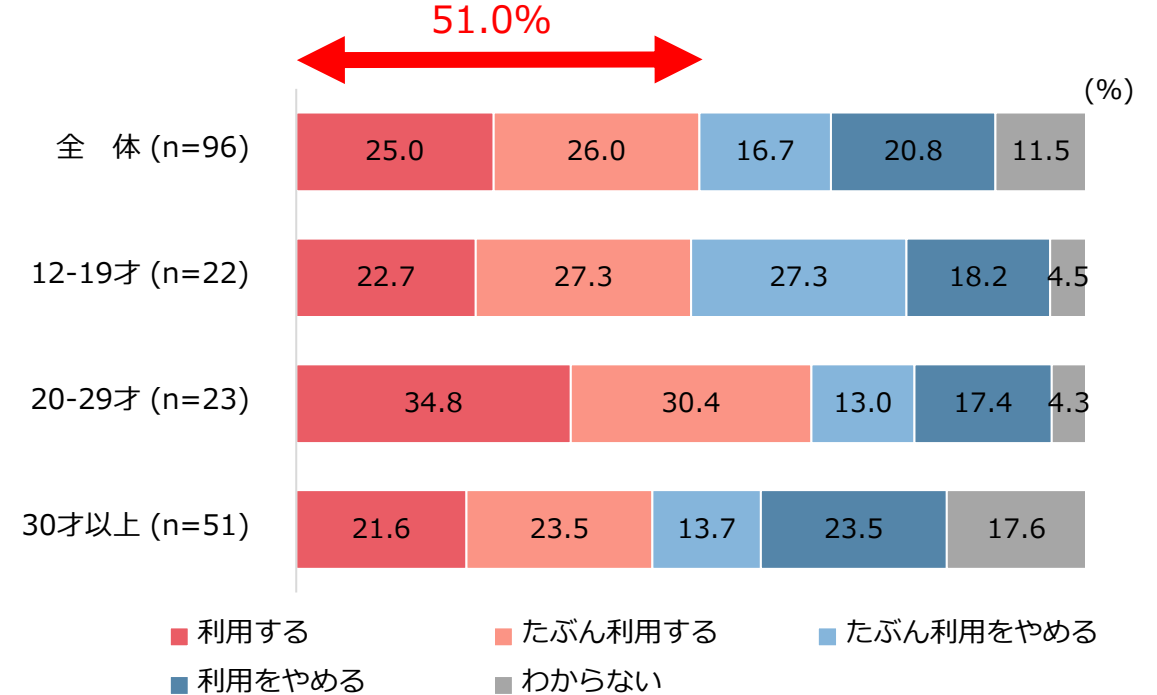
リーチサイトの継続利用意向

- アーティストへの支払いがないと分かった場合でも55.2%がリーチサイトを利用すると回答
- アーティストが反対する場合の利用意向も51.0%と、どちらの施策であっても利用すると回答する人が過半数となった
- 「利用をやめる」割合はどちらの施策でも20.8%となっており、違法音楽アプリよりもやめる意志が強い人が多い

【アーティストへ支払いなし】



【アーティストの反対】



Q9 もし、あなたが利用しているリーチサイトからアーティストにお金が支払われていないとしたら、そのリーチサイトを今後も利用しようと思えますか？

Q10 もし、あなたが利用しているリーチサイトを使うことにアーティストが反対しているとしたら、あなたはそのリーチサイトを今後も利用しようと思えますか？

まとめ

	違法音楽アプリ	リーチサイト
利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 約37万人 (Music FM (Musica系含む)、MusicBoxを最利用) (2020年3月調査: 264万人、9月調査: 81万人、11月調査: 64万人) ◆ 12~19歳 34.5% (昨年: 31.5%) ◆ 20~29歳 25.7% (昨年: 32.5%) ◆ 30歳以上 39.8% (昨年: 36.0%) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 約39万人 (最利用ではなく、複数利用で集計) ◆ 12~19歳 30.2% ◆ 20~29歳 21.7% ◆ 30歳以上 48.2%
法改正の認知	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 46.4% (昨年: 46.0%) ◆ 最も認知率が高い20代で51.6% (昨年: 50.9%) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 24.4% ◆ 最も認知率が高い20代で33.0%
利用をやめる条件	<ul style="list-style-type: none"> ◆ アーティストへの支払いなし 27.4% (昨年: 35.0%) ◆ アーティスト反対 45.9% (昨年: 49.0%) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ アーティストへの支払いなし 35.4% ◆ アーティスト反対 37.5%
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用をやめた理由では、使いづらいといったアプリの使い勝手の悪さが大きく伸びている。無料だから利用している人が多いので、使い勝手のよい定額制音楽配信サービスの安いプランを知れば移行が進む可能性がある。 ◆ 法改正の認知は約半数となっているが、法改正を知って利用をやめた人は14.5%にとどまる。しかし、安全ではない感じがするという理由でやめた人が多いことから、法改正を知らない人でも正規のサービスではないと認識されていると考えられる。 ◆ アーティストの反対がある場合には約半数が利用をやめると回答しているので、アーティストから違法音楽アプリの利用中止を発信することは効果があると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「リーチサイト」の認知は高いとは言えないが、今年1月、リーチサイトの運営で初めて摘発者が出てニュースになった。これをきっかけに、テレビでも「リーチサイトとは？」を目にするようになったので、今後ユーザーの意識に変化が出る可能性がある。 ◆ 利用者の過半数がリーチサイトからアーティストへお金が支払われていると思いつつ利用している。リーチサイトが違法であり、アーティストにもお金が還元されていないという正しい認識を広めることが必要だと考えられる。